

充実させよう嚥下調整食

入院高齢者に多い嚥下障害の患者さん。皆さんの施設の嚥下調整食は充実していますか？「日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類 2013」が平成 25 年 9 月に発表されました。

(内 容)

本文目次	I.概説・総論
	II.学会分類 2013 (食事)
	III.学会分類 2013 (とろみ)
	IV.Q&A
別紙早見表	学会分類 2013 (食事) 早見表
	学会分類 2013 (とろみ) 早見表

11 月は栄養管理推進月間です！
すべての患者の栄養管理を充実させるよう取り組みましょう。

食の地域連携を目指し、どこでも、誰でも同じ食形態の食事の提供が受けられる環境を整えることが求められてきました。そのためには全国統一の基準が必要です。

「日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類 2013」を活用することで病院・施設・在宅までのシームレスな栄養管理を目指しましょう。自施設の食事の名称を変更する必要はありません。

※「日本摂食・嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類 2013」は、(一社)日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 HP に掲載されています。

